



えごた

<http://nk-egota-e.a.la9.jp>

令和2年
7月号7月22日
江古田小学校
児童数 429名

TEL03-3385-0411

学校の教育目標◎かんがえる子ども○やさしい子ども○たくましい子ども(◎重点目標)
目指す学校の姿「元気いっぱい、笑顔で挑戦、子ども一人ひとりがよさを発揮できる学校」

未来社会に向け、主体的に考え行動できる力

校長 松井 貴子

はじめに、熊本県をはじめ日本各地で豪雨による河川の氾濫や土砂災害等による被災の報に心より御見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

今年は梅雨が長くなるとの予報もあります。衣服調整などに気を付けて健康な生活を送るとともに、風水害等の自然災害についても自分事として考え、生活に生かせるようにしたいものです。中野区では風水害が起きた場合、学校が避難所になったり、学校で待機させ引き渡しになったりします。区では密を避けるための手だても検討しているのですが、緊急に備えて誰もが様々なシミュレーションしておくことが必要です。いざというときには自ら判断し行動する力が大事であるからです。

【ニューノーマルの学習モデル～対面学習とオンラインを活用した個別学習のハイブリッド～について】

7月10日に東京都教育庁より示された資料によると、**Before コロナ**では学校が学習の場、家庭は予習・復習の場に、**With コロナ**では、学校も家庭も学習の場であり学校では対面学習、家庭では個別学習としてオンライン教育の推進により変化をしていきます。

例えば**朝の会**については、学校では健康状態の把握、学習状況の把握、励まし、連絡事項を伝達します。家庭では体調を整える、規則正しい生活をする、計画を立て学習します。オンラインで学校から質問したり連絡したりし、家庭から回答したり分からないことを質問したりするといったことが可能です。

知識習得や小テスト他**講義型の授業**については、学校では学習の定着度を確認、全員でよりよい解を考える、発展的な内容を学ぶ、学習への動機付けをします。家庭では動画を観る、整理する、問題に取り組む、採点し誤答を解き直す等します。オンライン活用で学校から動画、課題、Webテストを配信し、家庭からは質問や課題の提出をします。

探究学習、実験や実習・実技、学校行事他の**協働型の授業**については、学校では発表や実験を行う、意見交換をする、質問やアドバイスをもらう、まとめるなどを行います。そして、家庭の個別学習の中では、振り返る、疑問点を明確にする、調べたり確認したりする、まとめる、次の準備をします。オンラインで学校から共有した新たな疑問点を示し、家庭から発表資料を提示することで学びのサイクルを作ります。このようにICT活用を推進することで個別最適化された学びを実現していきます。

【今、江古田小学校では】

再開した学校では、心に寄り添った児童の人間関係づくりを大切しながら、ICT機器を活用し、例えば英語や算数のデジタル教科を電子黒板に写しての授業等が日常的に行われています。

6月22日よりGoogle meetを利用し、リモートでの全校朝会を既に5回実施しました。7月11日に新たに作成した「江古田小学校 家庭学習ガイドブック」を配布しました。江古田小学校ホームページでも見ることができですが、家庭学習に役立つサイト一覧を示してあります。自ら情報を獲得し、個々の課題に応じた学びに生かしていく情報活用能力をより一層高めていけるようにします。

今後、夏季休業前の期間、7月27日の午後から5日間Google classroom等を使い、補充教室を実施します。オンライン学習を活用した家庭学習支援の準備を進める予定です。学習課題については紙ベースと併用しながら、学習道具としてPCやタブレットの活用力の向上を図り、学習の仕方を学んでいきます。

7月21日現在Google classroomログイン率は約85%です。保護者の皆様の理解と様々な御支援をいただきまして環境整備が着実に進んでおり、心より感謝申し上げます。